

令和3年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人 風

1. 事業実施の成果

昨年度はコロナウィルスが α 株→ δ 株→オミクロン株と次々と変異したことでその都度大きな波となり、風の利用者の方や学校・施設等でのクラスターも多くありました。幸い風・だいちの中で感染が広がることはありませんでしたが、風の主要事業である外出支援が難しい状況が続きました。ワクチン接種が進んだおかげで9月以降は感染者数も減ってきて、利用されたくても利用できなかった方が戻っていらっしゃいました。しかしそれも束の間で、オミクロン株の爆発的感染の広がりに伴い冬は非常に厳しい状態となりました。

「だいち」では年度当初からの新規利用者2名途中入所者1名途中転出者1名卒業生1人がいました。新しい利用者さんもそれぞれ順調にだいちの活動になれ、楽しく活動されている様子が見られました。

今年度も常時ホームページに最新情報を掲載しました。また利用者にはたよりでコロナ関連の情報をお知らせし、ヘルパースタッフは会議内でコロナの感染予防や現状について学びました。

○ヘルパー事業

<居宅介護・行動援護・同行援護・移動支援>

新規利用の問い合わせも数件ありましたが、ヘルパー不足や送迎が難しいなどの理由で契約には至っていません。

新型コロナウイルスの影響で利用を控えている方も多く、利用される方は依然として少なくなっています。一部の施設ではありますが、生活介護事業所でコロナウィルスへの対応が「他事業所を使わないでほしい」となっていたのが、「平日のお迎えに他事業所が来るのは控えてほしいが、休日に利用するのであればかまわない」と変更になった事もあり、土日・祝日に利用される方は令和2年度に比べて微増しています。

コロナに関しての意識の違いはありますが、昨年よりは皆様のコロナに関しての知識も増えたので、保護者との信頼も比較的得ることが出来、支援内容を確認しあいながら支援させていただくこともスムーズになりました。

3回の緊急事態宣言の間、外出先は県内に留めていましたが、それ以外の期間ご希望があれば、東京・埼玉・神奈川等へ感染予防に注意しながら外出支援を行いました。

利用率は、前年度比 5.3%減

<タイムケアサービス>

ほとんどがヘルパーの対象とならない長時間の車利用時間でした。

昨年は車で遠出を希望される方も多かったのですが、今年度は通常年に戻りました。

利用率は、前年度比減 73%減

<送迎サービス（福祉有償運送）>

今年度もヘルパーを利用される方で送迎を希望される方に送迎サービスを実施しました。

事故なく1年を過ごすことができました。ご自宅以外での主な送迎先は印旛特別支援学校バス停、印旛

郡通所施設（バス停も含む）、千葉市内通所施設等です。

利用率は、前年比 21%減

○放課後等デイサービス

「だいち」

今年度の利用者数は、9名です。

令和3年9月、令和4年1月に新規利用の登録があり新規利用者が2名となりました。

令和4年2月に1名退所され、3月に1名卒業されています。

昨年度は、1年間外出を控えて来た為、今年度は外出行事をと検討しましたが、今年度も4月から新型コロナウイルス感染症蔓延防止が発令された為、外出自粛要請となりました。

その間、検討していた場所へは行くことが出来ませんでした。が、蔓延防止が解除になった10月からの土曜日の活動では、四街道市内の大きな公園や千葉市動物公園、ポートタワー、花の美術館等の広々とした屋外施設へ行きました。

だいち内では、音楽に合わせて身体を動かしたり、ダンベルスケート・パラシュート・プロジェクターダンスや協調性やゲーム性を意識できるポッチャ・ストラックアウト等を行い、室内でも発散できるように工夫を重ねました。

また、指先のトレーニングや集中力を高められるキャップ落とし・ビーズ通し・シール貼り等も行いました。

季節行事では、外へ出なくても季節を感じられるように、だいち内の装飾を行いました。

装飾された中で、七夕まつり・ハロウィン・クリスマスを楽しみました。

今年は、学校でコロナ感染防止の為、学年・学級閉鎖が行われだいちを利用できる日も減りましたが、だいちに来ている時の子どもたちは笑顔を見せて、穏やかに過ごしていました。

学校等で感染した児童生徒もいましたが、だいちを介して感染が広がることはなかったのは幸いでした。

利用率は前年度比 7.6%増

○YPCレククラブ(制度外)

今年度も新型コロナウイルス感染予防のため今年度は活動を休止させていただきました。

○その他

・今年度も厚生労働省のWAMNETの「障害福祉サービス等事業所情報公表システム」を改訂し公開しました。

・風の広報活動として「風のたより」を毎月発行しました。

・ホームページの風だいちのようすと新型コロナウイルス情報は随時更新し、年間延べ2100名の方が閲覧されています。

・感染のリスクがあり、事業所内部研修を実施する事は出来ませんでした。が、風サービス提供責任者とだいちの児童指導員が千葉県主催の「権利擁護と虐待防止」の研修を受け、ヘルパー・指導員全員への伝達研修を実施しました。管理者は千葉県社会福祉協議会主催の「権利擁護と虐待防止」を受講しました。

2. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害福祉サービス	・居宅介護 (身体介護・家事援助・通院介助)	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 221 名	1,796
	・同行援護	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 155 名	3,351
	・行動援護	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 816 名	21,586
	・放課後等 デイサービス	月～土	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	利用者数に応じて2名～5名	デイサービスを希望する高校生以下の児童だいち 延 1319 名	13,873
地域生活支援事業	・移動支援事業	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 362 名	3,115
タイムケアサービス	時間単位で利用者の希望に添った支援をおこなう。必要に応じて保護者に代わり、一時預かりをする	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名にて支援	主に、一時預かりを必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延べ 19.5 時間	32
福祉有償運送(送迎サービス)	目的地までの送迎を行う	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	必要に応じて派遣	主に、送迎を希望する身体障害児者、知的障害児者等 延べ 551 名	640